

科目名	専門分野			ディプロマ・ポリシー(DP)	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
	精神看護学			担当教員	専任(基幹)教員					
	精神看護学領域横断									
履修学年	2年	履修学期	後期	単位数	1	時間数	30			
授業目標	1. 多様な家族の構造と機能を知り、家族の思いやニーズを理解する 2. 家族を理解するための理論を活用し、家族の現状と課題を読み取る。 3. 病気や障がいを持つ人の家族機能の維持及び変化をもたらす看護介入が解る。 4. 家族看護の意義が解る。 5. 精神疾患をもつ対象とその家族の健康的な暮らしを創造的にとらえた健康回復に向けた支援が解る。									
1～15	1. 健康回復支援 パフォーマンス課題導入					専任(基幹)教員				
	2. 家族と看護 1) 家族看護の対象 (1) 家族とは (2) 家族構造 (3) 家族機能 (4) 現代の家族とその課題									講義
	2) 家族看護を支える理論と介入法 (1) 家族を理解するための理論 家族発達論の理解 家族システム理論 (2) 家族の変化を把握する理論 家族ストレス対処理論 (3) 家族に変化をもたらすための介入									講義 演習
	3) 家族看護の視点 (1) 家族看護過程 (2) 家族看護の実践 ①情報の整理・解釈・計画 エコマップとジェノグラム ②家族看護の実施 看護師の役割 ③家族看護実践の評価 (3) さまざまな家族アセスメントモデル									講義 演習
	4) 事例に基づく家族看護学の実践 (1) 急性期患者の家族看護									講義 演習
	(2) 精神疾患患者の家族看護									講義
	3. 健康回復支援 パフォーマンス課題 「壮年期男性の社会復帰に向けた精神看護」 事例④40歳代、男性、妻・子ども2人・両親6人家族 会社員、うつ病発症入院中									講義 演習
評価規準 評価方法	パフォーマンス課題・筆記試験 100点									
テキスト および 参考文献	系統看護学講座 別巻 家族看護学 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開 (医学書院)									
履修上の注 意点										